

数量調書  
(利岡地区)



ステンレス製貯水機能付配水管 (4m<sup>3</sup>)

基礎数量計算書

基礎版部

現場名:利岡地区

名称	計算式				数量	単位
(桁等購入費) 貯水機能付給水管(4.0m <sup>3</sup> )		本体:2.0m φ SUS304 球形型	容量:4.0m <sup>3</sup>	= 1.000	1.00	基
(労務費) 貯水槽設置工		第4類:890kg		= 1.000	1.00	式
基礎コンクリート 24-12-25(20)	基礎版	3.000×3.000×0.500		= 4.500	5.0	m <sup>3</sup>
型枠	基礎版	(3.000+3.000)×0.500×2		= 6.000	6.0	m <sup>2</sup>
鉄筋 SD345	D16	291.8		= 291.800	0.29	t
	D13	13.0		= 13.000	0.01	t
均しコンクリート 18-8-20	基礎版	3.200×3.200×0.050		= 0.512	0.5	m <sup>3</sup>
均しコンクリート型枠	基礎版	(3.200+3.200)×0.050×2		= 0.640	0.6	m <sup>2</sup>
基礎材 RC-40 t=150		3.200×3.200		= 10.240	10.0	m <sup>2</sup>



数量調査:廻り配管

名称	形状寸法	単位	合計	対象図面																
				廻り配管詳細図1									廻り配管詳細図2							
				管割図			側面図			詳細図			平面図							
				管割図	流入管		流出管		排水管	流入管 (2-2)	流出管 (1-1)	排水管 (2-2)		採水口						
管割図	延長集計表	管割図	延長集計表		延長集計表															
硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆	簡易仕切弁 Φ150mm	箇所	1.0	1.0																
硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆	割T字管 Φ150mm	箇所	2.0		1.0		1.0													
硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆	曲管 Φ100mm	箇所	2.0						1.0	1.0										
硬質塩化ビニル管用鋳鉄異形管被覆	片落管 Φ150mm	箇所	2.0		1.0		1.0													
不断水簡易仕切弁取付工	φ150	箇所	1.0	1.0																
不断水連絡工	Φ150×Φ150mm	箇所	2.0		1.0		1.0													
仕切弁BOX設置工	φ150用 d=600用	箇所	3.0	1.0	1.0		1.0													
コンクリート削孔工	40A L=100mm	孔	1.0						1.0											
支持金具設置工		箇所	4.0							1.0	1.0	2.0								
保温工	SUS 25A	m	0.3																0.3	
保温工	SUS 100A	m	4.1							2.18	1.92									
フレキシブルジョイント布設工	Φ100mm	m	1.2							0.6	0.6									
スリース弁設置工	鋼管用 40mm	箇所	1.0									1.0								
ゲートバルブ設置工	鋼管用 25mm	箇所	1.0																1.0	
管明示シート工		m	190.4																	190.4
(土工事)																				
本復旧土工断面1	国道 歩道 AS舗装	箇所	1.0																	1.0
不断水土工断面1	国道 歩道 AS舗装 d=0.6 φ150 ※本復旧は本復旧土工断面1に計上	箇所	1.0																	1.0
土工断面1	国道 歩道 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150 ※本復旧は本復旧土工断面1に計上	m	1.7																	1.7
土工断面2	国道 車道 AS舗装(両切) d=0.7 HPPE φ150×2本 並列配管	m	9.3																	9.3
土工断面3	国道 車道 AS舗装(両切2回) d=1.7 HPPE φ150×2本 並列配管	m	1.2																	1.2
土工断面4	敷地内 CO舗装(両切) d=1.7 HPPE φ150×2本 並列配管	m	2.3																	2.3
土工断面5	敷地内 CO舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150×2本 並列配管	m	1.4																	1.4
土工断面6	敷地内 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150×2本 並列配管	m	76.1																	76.1
土工断面7	敷地内 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150	m	7.2																	7.2
土工断面8	場内配管 d=0.6 HPPE φ150	m	8.5																	8.5
土工断面9	敷地内 未舗装 d=0.3程度 SGP-VB40A	m	0.9																	0.9

## 水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:廻配管詳細図 1 (流入管)

### 1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ150)

#### ①直管

	寸法	本数	延長(m)
水道配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ150	14.0	70.000
計			70.000

#### ③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EFへ`ト`	両受 φ150×45°	0.460	6.0	2.760
EFへ`ト`	両受 φ150×22・1/2°	0.380	1.0	0.380
PE挿し口×DIP(K形)異種管継ぎ手	φ150	0.760	1.0	0.760
計				3.900

#### ②切管

	口径	延長(m)
水道配水用ポリエチレン管	ブレンエント` φ150	4.500
		0.570
		1.050
		1.200
		0.630
		3.000
		2.850
		4.000
		4.630
		1.100
計		23.530

#### ④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
計				

切断 10.0 口

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	97.430 m ≒	97.4 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	m ≒	m

## 鋼管延長集計

対象図面:廻配管詳細図 1 (流入管)

### 1) 鋼管布設延長(100A)

#### ①直管

	寸法	本数	延長(m)
SGP-VB	100A		
計			

#### ②切管

	口径	延長(m)
SGP-VB	100A	0.5
計		0.5

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②	0.5 m ≒	0.5 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	①+②	0.5 m ≒	0.5 m

切断 1.0 口

## 水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:廻配管詳細図 1 (流出管)

### 1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ150)

#### ①直管

	寸法	本数	延長(m)
水道配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ150	13.0	65.000
		計	65.000

#### ③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EFへ`ト`	両受 φ150×90°	0.660	3.0	1.980
EFへ`ト`	両受 φ150×45°	0.460	8.0	3.680
EFへ`ト`	両受 φ150×22・1/2°	0.380	1.0	0.380
PE挿し口×DIP(K形)異種管継ぎ手	φ150	0.760	1.0	0.760
			計	6.800

#### ②切管

	口径	延長(m)	
水道配水用ポリエチレン管	ブレンエンド` φ150	0.400	
		0.460	
		3.400	
		0.610	
		1.050	
		1.200	
		0.630	
		3.000	
		2.650	
		4.000	
		4.930	
		1.310	
		4.520	
		3.140	
		1.020	
		計	32.320

切断 15.0 口

#### ④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
			計	

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	104.120 m ≒	104.1 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	m ≒	m

## 鋼管延長集計

対象図面:廻配管詳細図 1 (流出管)

### 1) 鋼管布設延長(100A)

#### ①直管

	寸法	本数	延長(m)
SGP-VB	100A		
		計	

#### ②切管

	口径	延長(m)	
SGP-VB	100A	0.5	
		計	0.5

切断 1.0 口

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②	0.5 m ≒	0.5 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	①+②	0.5 m ≒	0.5 m

**鋼管延長集計**

対象図面: 廻配管詳細図 1 (排水管)

1) 鋼管布設延長 (40A)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
SGP-VB	40A		
		計	

②切管


	口径	延長(m)
SGP-VB	40A	1.20
		計 1.20

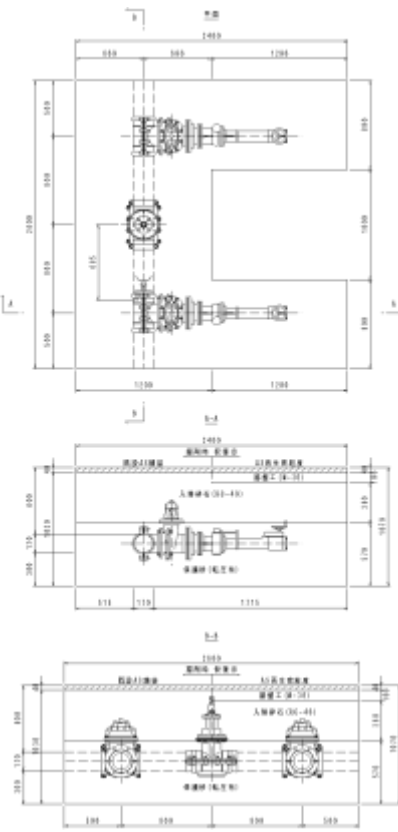
	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②	1.2 m ≒	1.2 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	①+②	1.2 m ≒	1.2 m

切断	1.0	口
----	-----	---

土工集計表:廻配管

名称	形状寸法	単位	設計計上	合計	対象図面																					
					本復旧土工断面1		不断水土工断面1		土工断面1		土工断面2		土工断面3		土工断面4		土工断面5		土工断面6		土工断面7		土工断面8		土工断面9	
					箇所当り	1.0箇所	箇所当り	1.0箇所	m当り	1.7m	m当り	9.3m	m当り	1.2m	m当り	2.3m	m当り	1.4m	m当り	1.4m	m当り	76.1m	m当り	7.2m	m当り	8.5m
舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	200.0	203.400			12.400	12.400	2.000	3.400	2.000	18.600	2.000	2.400					2.000	152.200	2.000	14.400				
舗装版切断工	CO版 15cm以下	m	7.0	7.400											2.000	4.600	2.000	2.800								
舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	115.0	115.300			5.040	5.040	0.600	1.020	2.100	19.530	1.400	1.680					1.100	83.710	0.600	4.320				
構造物取壊し	無筋 機械	m3	0.7	0.714											0.210	0.483	0.165	0.231								
管路掘削		m3	110.0	105.288			5.131	5.131	0.504	0.857	1.239	11.523	2.632	3.158	2.562	5.893	0.803	1.124	0.924	70.316	0.504	3.629	0.408	3.468	0.210	0.189
管路埋戻	砂(転圧有)	m3	40.0	40.041			2.813	2.813	0.203	0.345	0.375	3.488	0.482	0.578	0.482	1.109	0.368	0.515	0.368	28.005	0.203	1.462	0.203	1.726		
管路埋戻	RC-40	m3	7.0	6.903			1.814	1.814	0.216	0.367	0.291	2.706	1.680	2.016												
管路埋戻	良質発生土	m3	38.0	38.140											1.890	4.347	0.275	0.385	0.396	30.136	0.216	1.555	0.180	1.530	0.208	0.187
路盤工	1.8m未満 M-30 t=10cm	m2	1.0	1.020					0.600	1.020																
路盤工	1.8m未満 RC-40 t=14cm	m2	88.0	88.030															1.100	83.710	0.600	4.320				
路盤工	1.8m未満 RC-40 t=25cm	m2	5.0	4.760											1.400	3.220	1.100	1.540								
路盤工	1.8m以上 M-30 t=10cm	m2	5.0	5.040			5.040	5.040																		
下層路盤工	1.8m未満 RC-40 t=15cm	m2	17.0	17.090							1.657	15.410	1.400	1.680												
上層路盤工	1.8m未満 M-30 t=20cm	m2	2.0	1.680									1.400	1.680												
上層路盤工	1.8m以上 M-30 t=20cm	m2	18.0	17.875							1.922	17.875														
AS舗装工(人力舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m2	1.0	1.020					0.600	1.020																
AS舗装工(機械舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m2	5.0	5.040			5.040	5.040																		
AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m2	21.0	21.210							2.100	19.530	1.400	1.680												
AS殻処理	L=8.7km	m3	6.0	5.885			0.202	0.202	0.024	0.041	0.210	1.953	0.140	0.168					0.044	3.348	0.024	0.173				
CO殻処理	L=8.7km	m3	0.7	0.714											0.210	0.483	0.165	0.231								
発生土処理	土砂 L=9.0km	m3	63.0	62.910			5.131	5.131	0.504	0.857	1.239	11.523	2.632	3.158	0.462	1.063	0.497	0.696	0.484	36.832	0.264	1.901	0.208	1.768	-0.021	-0.019
土留工	H=2.5	m	3.5	3.500									1.000	1.200	1.000	2.300										
カッター汚泥運搬処分	L=129km	t	0.4	0.400	$V=0.023 \times 0.04 \times (12.4 + 3.4 + 152.2 + 14.4 + 7.7) + 0.023 \times 0.1 \times (18.6 + 2.4 + 2.4) + 0.058 = 0.287m^3$ $N=0.287m^3/0.5 \approx 1$ 台 $G=0.287 \times 1.4 = 0.4t$																					
(本復旧)																										
舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	9.0	9.400	7.000	7.000							2.000	2.400												
舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	31.0	31.150	9.100	9.100					2.100	19.530	2.100	2.520												
管路掘削		m3	5.0	5.296							0.105	0.977	0.070	0.084	0.210	0.483	0.165	0.231	0.044	3.348	0.024	0.173				
AS殻処理	L=8.7km	m3	2.0	1.509	0.364	0.364					0.105	0.977	0.140	0.168												
発生土処理	土砂 L=9.0km	m3	1.0	1.061							0.105	0.977	0.070	0.084												
発生土処理	CO殻 L=8.7km	m3	4.0	4.235											0.210	0.483	0.165	0.231	0.044	3.348	0.024	0.173				
不陸整正	1.8m未満	m2	93.0	92.790											1.400	3.220	1.100	1.540	1.100	83.710	0.600	4.320				
不陸整正	1.8m以上	m2	31.0	31.150	9.100	9.100					2.100	19.530	2.100	2.520												
AS舗装工(人力舗設)	再生密粒度 t=40mm	m2	88.0	88.030															1.100	83.710	0.600	4.320				
AS舗装工(機械舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m2	9.0	9.100	9.100	9.100																				
基層AS舗装工(機械舗設)	再生粗粒度 t=50mm	m2	22.0	22.050							2.100	19.530	2.100	2.520												
表層AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m2	22.0	22.050							2.100	19.530	2.100	2.520												
CO舗装工	T=150	m3	0.7	0.714											0.210	0.483	0.165	0.231								

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1箇所当り数量	
本復旧土工断面1 国道 歩道 AS舗装 	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	3.50×2箇所	7.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	2.60×3.50	9.100	
	AS殻処理	L=8.7km	m3	2.60×3.50×0.04	0.364	
	不陸整正	1.8m以上	m2	2.60×3.50	9.100	
	AS舗装工(機械舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m2	2.60×3.50	9.100	

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1箇所当り数量	
不断水土工断面1 国道 歩道 AS舗装 d=0.6 φ150 ※本復旧は本復旧土工断面1に計上 	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	(2.40+2.60+1.20)×2	12.400	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	2.40×2.60-1.20×1.00	5.040	
	管路掘削		m3	(2.40×2.60-1.20×1.00)×1.03-0.023×2.60	5.131	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m3	(2.40×2.60-1.20×1.00)×0.57-0.023×2.60	2.813	
	管路埋戻	RC-40	m3	(2.40×2.60-1.20×1.00)×0.36	1.814	
	路盤工	1.8m以上 M-30 t=10cm	m2	2.40×2.60-1.20×1.00	5.040	
	AS舗装工(機械舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m2	2.40×2.60-1.20×1.00	5.040	
	AS殻処理	L=8.7km	m3	(2.40×2.60-1.20×1.00)×0.04	0.202	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m3	掘削	5.131	

※ φ150断面積: 0.170<sup>2</sup>×3.14÷4=0.023

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計 算 式	1m当り数量	
<p>土工断面1 国道 歩道 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ 150 ※本復旧は本復旧土工断面1に計上</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		0.600	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	$0.60 \times 0.84$	0.504	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	$0.60 \times 0.38 - 0.025$	0.203	
	管路埋戻	RC-40	m <sup>3</sup>	$0.60 \times 0.36$	0.216	
	路盤工	1.8m未満 M-30 t=10cm	m <sup>2</sup>		0.600	
	AS舗装工(人力舗設):歩道	再生密粒度 t=40mm	m <sup>2</sup>		0.600	
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	$0.60 \times 0.04$	0.024	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	掘削	0.504	
	※ φ 150断面積: $0.180^2 \times 3.14 \div 4 = 0.025$					

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計 算 式	1m当り数量	
<p>土工断面2 国道 車道 AS舗装(両切) d=0.7 HPPE φ 150×2本 並列配管</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		2.100	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	$(1.917 + 0.90) \times 0.88 / 2$	1.239	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	$(1.339 + 0.90) \times 0.38 / 2 - 0.025 \times 2$	0.375	
	管路埋戻	RC-40	m <sup>3</sup>	$(1.570 + 1.339) \times 0.20 / 2$	0.291	
	下層路盤工	1.8m未満 RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	$(1.570 + 1.743) / 2$	1.657	
	上層路盤工	1.8m以上 M-30 t=20cm	m <sup>2</sup>	$(1.743 + 2.100) / 2$	1.922	
	AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		2.100	
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	$2.10 \times 0.10$	0.210	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	掘削	1.239	
	(本復旧)					
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		2.100	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	$2.10 \times 0.05$	0.105	
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	$2.10 \times 0.05$	0.105	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	$2.10 \times 0.05$	0.105	
不陸整正	1.8m以上	m <sup>2</sup>		2.100		
基層AS舗装工(機械舗設)	再生粗粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		2.100		
表層AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		2.100		
※ φ 150断面積: $0.180^2 \times 3.14 \div 4 = 0.025$						

土断(廻配管)

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量
<p>土工断面3 国道 車道 AS舗装(両切2回) d=1.7 HPPE φ150×2本 並列配管</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		1.400
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.40×1.88	2.632
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	1.40×0.38-0.025×2	0.482
	管路埋戻	RC-40	m <sup>3</sup>	1.40×1.20	1.680
	下層路盤工	1.8m未満 RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>		1.400
	上層路盤工	1.8m未満 M-30 t=20cm	m <sup>2</sup>		1.400
	AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		1.400
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	1.40×0.10	0.140
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	掘削	2.632
	(本復旧)				
	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		2.100
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.40×0.05	0.070
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	1.40×0.05+0.70×0.10	0.140
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>		0.070
	不陸整正	1.8m以上	m <sup>2</sup>		2.100
	基層AS舗装工(機械舗設)	再生粗粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		2.100
	表層AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=50mm	m <sup>2</sup>		2.100
	土留工	H=2.5	m		1.000
※ φ150断面積: 0.180 <sup>2</sup> × 3.14 ÷ 4 = 0.025					

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面4 敷地内 CO舗装(両切) d=1.7 HPPE φ150×2本 並列配管</p>	舗装版切断工	CO版 15cm以下	m		2.000	
	構造物取壊し	無筋 機械	m <sup>3</sup>	1.40×0.15	0.210	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.40×1.83	2.562	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	1.40×0.38-0.025×2	0.482	
	管路埋戻	良質発生土	m <sup>3</sup>	1.40×1.35	1.890	
	路盤工	1.8m未満 RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>		1.400	
	CO殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	1.40×0.15	0.210	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	掘削-埋戻/0.9	0.462	
	(本復旧)					
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.40×0.15	0.210	
	発生土処理	CO殻 L=8.7km	m <sup>3</sup>		0.210	
	不陸整正	1.8m未満	m <sup>2</sup>		1.400	
	CO舗装工	T=150	m <sup>3</sup>	1.40×0.15	0.210	
	土留工	H=2.5	m		1.000	
	※ φ150断面積: 0.180 <sup>2</sup> × 3.14 ÷ 4 = 0.025					

土断(廻配管)

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面5 敷地内 CO舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150×2本 並列配管</p>	舗装版切断工	CO版 15cm以下	m		2.000	
	構造物取壊し	無筋 機械	m <sup>3</sup>	1.10×0.15	0.165	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.10×0.73	0.803	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	1.10×0.38-0.025×2	0.368	
	管路埋戻	良質発生土	m <sup>3</sup>	1.10×0.25	0.275	
	路盤工	1.8m未満 RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>		1.100	
	CO殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	1.10×0.15	0.165	
	発生土処理	土砂 L=9.0km	m <sup>3</sup>	掘削-埋戻/0.9	0.497	
	(本復旧)					
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.10×0.15	0.165	
	発生土処理	CO殻 L=8.7km	m <sup>3</sup>		0.165	
	不陸整正	1.8m未満	m <sup>2</sup>		1.100	
	CO舗装工	T=150	m <sup>3</sup>	1.10×0.15	0.165	
	※ φ150断面積: 0.180 <sup>2</sup> × 3.14 ÷ 4 = 0.025					

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面6 敷地内 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ150×2本 並列配管</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		1.100	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.10×0.84	0.924	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	1.10×0.38-0.025×2	0.368	
	管路埋戻	良質発生土	m <sup>3</sup>	1.10×0.36	0.396	
	路盤工	1.8m未満 RC-40 t=14cm	m <sup>2</sup>		1.100	
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	1.10×0.04	0.044	
	発生土処理	土砂	m <sup>3</sup>	掘削-埋戻/0.9	0.484	
	(本復旧)					
	管路掘削		m <sup>3</sup>	1.10×0.04	0.044	
	発生土処理	CO殻 L=8.7km	m <sup>3</sup>		0.044	
	不陸整正	1.8m未満	m <sup>2</sup>		1.100	
	AS舗装工(人力舗設)	再生密粒度 t=40mm	m <sup>2</sup>		1.100	
	※ φ150断面積: 0.180 <sup>2</sup> × 3.14 ÷ 4 = 0.025					

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面7 敷地内 AS舗装(両切) d=0.6 HPPE φ 150</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m <sup>2</sup>		0.600	
	管路掘削		m <sup>3</sup>	0.60×0.84	0.504	
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	0.60×0.38-0.025	0.203	
	管路埋戻	良質発生土	m <sup>3</sup>	0.60×0.36	0.216	
	路盤工	1.8m未満 RC-40 t=14cm	m <sup>2</sup>		0.600	
	AS殻処理	L=8.7km	m <sup>3</sup>	0.60×0.04	0.024	
	発生土処理	土砂	m <sup>3</sup>	掘削-埋戻/0.9	0.264	
	(本復旧)					
	管路掘削		m <sup>3</sup>	0.60×0.04	0.024	
	発生土処理	CO殻 L=8.7km	m <sup>3</sup>		0.024	
	不陸整正	1.8m未満	m <sup>2</sup>		0.600	
	AS舗装工(人力舗設)	再生密粒度 t=40mm	m <sup>2</sup>		0.600	
	※ φ 150断面積: 0.180 <sup>2</sup> ×3.14÷4=0.025					

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量
<p>土工断面8 場内配管 d=0.6 HPPE φ 150</p>	管路掘削		m <sup>3</sup>	0.60×0.68	0.408
	管路埋戻	砂(転圧有)	m <sup>3</sup>	0.60×0.38-0.025	0.203
	管路埋戻	良質発生土	m <sup>3</sup>	0.60×0.30	0.180
	発生土処理	土砂	m <sup>3</sup>	掘削-埋戻/0.9	0.208
	※ φ 150断面積: 0.180 <sup>2</sup> ×3.14÷4=0.025				





仮設材数量集計表

名称	規格	単位	数量	摘要
<b>【土留工 H=2.5】</b>				
軽量鋼矢板たて込み	掘削深2.5m以下、両側施工	m	3.5	
軽量鋼矢板引き抜き	掘削深2.5m以下、両側施工	m	3.5	
支保工設置・撤去	2段(3.5m以下、軽量金属腹起し材、水圧式パイプサポート)	m	3.5	
支保材基本料・賃料	アルミ腹起し、アルミ水圧サポート	日	2	
軽量鋼矢板賃料	軽量鋼矢板2型、供用日数2日、整備費あり	t	1.0	$G=1.184/4 \times 3.5=1.036t$
仮設材運搬	往復分、～10km	t	1.2	$G=0.346 \times 3.5=1.211t$
仮設材積込・積卸	往復分	t	3.2	

仮設材重量【配管】

(配管2段)

(4 m当り)

軽量鋼矢板	スパン距離(m)×2÷矢板幅(m)×矢板長(m)×単位質量(t/m)	使用数量(t)
Ly = 2.5m	Ⅱ型 4.0×2÷0.25×2.5×0.0148	1.184
計(A)		1.184

	単位	1段当り数量	段数	単位重量	使用数量(t)
アルミ製腹起し 幅110~120mm 高120~130mm 長4000mm	t/枚	2	2	0.0386	0.154
水圧式サポート 整長770~1300mm 標準	t/枚	2	2	0.0115	0.046
計(B)					0.200
合計(A)+(B)					1.384
m当り(C)					0.346

1日当り試験距離・・・実務必携より

口 径	φ 150以下	φ 200～300	φ 400～600	φ 700～800
既設管と連絡せず 給水車で注入する場合	1000m～1500m	500m～1000m	300m～500m	300m以下
既設管と連絡して 給水車が不要の場合	500m～2000m			

備考 4. 通水試験工の1日当り試験距離以下の日数の算出は、次式による。ただし、1日当り試験距離は適用範囲の最小値とする。

※ 通水試験(日) = 通水試験距離(m) / 1日当り試験距離(m)

例) φ 150以下で通水試験延長が560mの場合  $560/1000=0.56$ 日

<b>試験距離</b>	既設管と連絡して給水車が不要: $N=202.5/500=0.405 \approx 0.41$ 日
-------------	--